

1 市民の皆さまの期待に応えると同時に 将来への安心感をお届けすること

市民の皆さまからは、**教育や子育て支援への大きな期待**が寄せられています。その期待に応えるべく、これまでも子どもたちの快適な学習環境を整えるため、小・中学校の校舎の大規模改造、増改築やトイレの洋式化などを進め、もっと安心して子育てをしてほしいとの思いから、中学生の医療費の無料化や子育て支援のための施設整備も行ってきました。平成29年度は、**小・中学校校舎の大規模改造の工事**を新たに2校、設計にも新たに2校着手し、小・中学校の**普通教室へのエアコン設置**は中学校に続き、**小学校も取り掛かる**ことにより学校の施設整備を加速させるとともに、**認定こども園の整備**も進めます。



こうした取り組みは大きな財政負担を伴うものです。過剰な投資は財政の健全性を損ね、次の時代につけを残してしまいます。

公共施設については、老朽化による改修や建て替えのご要望をいただいておりますが、将来的に現在の全ての施設を維持していくことは困難な状況です。このような中、今年1月に策定した津市公共施設等総合管理計画は、20年後、30年後を見通して**公共施設の量的、質的な最適化**を図るとともに、施設区分ごとの今後の方向性を明確に示し、**必要な施設の整備については進めていこうとする**ものです。一身田公民館は、この計画に基づき、コンパクトな形で建て替えることにしました。

未来に過剰な負担を負わせることなく、**健全な財政運営の下で行われているという安心感**をお届けしながら、市民の皆さまの期待にしっかりと応えていきます。

2 懸案事項や新たな課題に果敢に 挑戦すること

これまでも、**長年の懸案事項や施策を進める中で浮かび上がってきた課題**については、ひるむことなく取り組んできました。例えば、第3セクターの経営課題には、逃げることなく真剣に向き合い、株式会社津センターパレスの財務改善やポルタひさいの再生を成し遂げました。

地域の皆さまに望まれていた**大谷踏切の拡幅や旧明村役場庁舎の保存活用**には着手し、道の駅津

かわげは開駅することができました。また、地域の皆さまの思いを受け止め、(仮称)香良洲高台防災公園の整備を決定するとともに、防犯灯のLED化への補助制度拡充・予算充実も図りました。

①企業誘致のさらなる推進と企業間のビジネスマッチングや創業に関するサポート体制の整備、②公民館・コミュニティ施設の老朽化対策、③高齢者の外出支援、④災害情報戸別受信装置の配付の4つの課題については、平成28年度、事業化に向けた検討のための調査予算を計上し、1年間という期限を設けた中で、それぞれ答えを出すことができました。

これから先、社会経済情勢や市民生活を取り巻く環境の変化により、津市はさまざまな課題に直面するはずで**その課題を安易に先送りすることなく、チャレンジ精神を持って受け止め、解決につなげます。**

3 身近な望みを丁寧にきめ細かく かなえていくこと

市民に寄り添い、市民の立場に立った行政であるべきという考え方から、身近な地域の要望に速やかに対応し、地域に頼られる存在となるよう、これまでも地域インフラ維持・補修事業の創設、総合支所長への権限、財源の付与などを行いました。加えて、地域の課題を一元化するために地域連携課も設置しました。また、獣害対策については、地域に寄り添ったきめ細かい対応ができるよう、農地を守るプロジェクトを始動しました。

平成29年度も地域の課題や望みを直接お聞きして、それを少しでも前に進めていくため、**地域懇談会を引き続き実施**します。平成27年10月から懇談会を始め、半年間で37の地域から1,039項目のご要望などをいただき、平成28年度は、そのフォローアップを進めながら、1月末までに新たに648項目のご要望などをいただいております。

身近な課題に対しても、市民に寄り添い、課題解決に向けて一歩でも前に進めていくことで、**市民を裏切らない市政**を続けていきます。

以上の**3つの気概**を持って市役所を挙げて取り組み、私のまちづくりの原点である「風格ある県都・津市」の実現のため、力を尽くしていきます。

教育や子育て支援を施策の中心に据え、市民の望みを着実に実現しながら、地域経済がしっかりと暮らしを支え、市民が幸せに暮らしていけるまちづくりを力強く進めてまいります。